



建物の外観は社会の財産



自然が生み出す屋根断熱の極み

日本初 防火・準防火地域対応
木製屋根材ウイルルーフ

WILL ROOF

「安全・環境」
人と地球に優しい街並みのために

日本初 木製外壁・準耐火構造認定
不燃木製外装・内装材ウイルウォール

WILL WALL

自然が生み出す環境共生型の経年美



本誌16頁掲載「京阪電車 中之島線」にて採用されました。

建物の外観は社会の財産 Safety & Ecology

安全と環境の両立

文化としての建築

安全性と環境性を備えた「木の外観を実現していく」

「時間と共に変わっていく意匠（時間だけがデザインできる美観）をひろめていくこと」
「物をいつくしみ、状況に応じた維持・保持を繰り返して、長く美しく使う思想を建築にひろめること」

私たちは、この二つを通して「街並み」「景観」に「文化」を創造していくことを目指しています。

かつて日本の建築文化において「木の外観」は中心的な存在でした。「木」というあやふやで、不連続な素材をとりこみ、重厚感や味わいを醸し出している街並みが存在しました。それをそのまま現代に「復刻」することは、建築スタイル・法規・安全性上そぐわない面も数多くあります。しかし一方で「新建材」と称される「文明偏重」が文化を駆逐してしまっただけでも事実です。そこで私たちは「復刻ではない、これからの文化」のために、現代の社会情勢に必要な「防火性能」「耐久性」「環境性能」などの「機能」を商品に付加しています。そこに私たちの「ウイル=未来・意思」が込められています。

「建物の外観は社会の財産」それは「外観が建築文化として認知されること」です。そしてそれは各オーナーが「社会に参加し」、更に建築の美しさを「楽しむ」ことを実現していくことなのです。

安全の証・不燃木材の盲点

「その不燃木材、塗装しても不燃認定品ですか？」

不燃木材に塗装をする際は、塗装も含めた不燃認定が必要になります。

（一般的な不燃木材は、無塗装のみでの認定が大半です。）

ウイルウォールは、無塗装に加え、「塗装済みでの複合認定も取得」していますので、安心していただける塗装を楽しむことができます。

「その不燃木材、外部使用でも防火性能劣化しませんか？」

不燃材料認定は、もともと内装制限の観点から派生した認定のため、その試験方法は外部使用を想定していません。

（一般的な不燃木材は、外部使用では防火性能が劣化するものが大半です。）

ウイルウォールはもともと住宅の外壁のために、アメリカでの過酷な10年屋外暴露試験（UL790）に合格した技術で開発され、更に長期間の人工的な暴露試験でも防火性能の耐性が確認されています。これに将来に渡り、安全な木の街並みを生み出すことが可能になったのです。

チャンネルオリジナル株式会社

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町4-54 kannai ex 9F

Tel : 045-662-0088 Fax : 045-662-6001

www.channel-m.jp

CHANNEL ORIGINAL

